

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床薬理学	必修/選択の別	必修	授業回数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年	学期及び曜時間	後期	教室名	視聴覚室等
担 当 教 員		森本幸弘 滝田 敬子 田中康崇	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》						
重要医薬品に焦点をあて、体系付けて学習する。更に薬物の人体への働きと生体側の反応を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
疾病の成り立ちと回復の促進[3]薬理学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)して、授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
病気の原因を良く知り、その治療薬を理解してください。聞きなれない言葉がたくさん出てきますが、繰り返し勉強をしてはやく慣れてください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物の人体への働きと薬物の生態側の反応について理解ができる 医薬品の安全、管理について理解できる		教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	薬物の作用機序、作用点や薬効発現あるいは相互作用の要因となる吸収、分布、代謝、排泄などについて			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる		教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	主な抗感染症薬による治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる		教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	主な抗ガン薬による治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる		教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	免疫治療薬による治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる		教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	抗アレルギーによる治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	末梢での神経活動に作用する薬による治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	中枢神経系に作用する薬による治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	心臓・血管系に作用する薬と治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	呼吸器・消化器・生殖系に作用する薬と治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	物質代謝に作用する作用する薬物と治療効果、薬の作用機序と副作用、禁忌		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	主な皮膚科用薬・眼科用薬と作用機序と副作用、禁忌		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	救急の際に使用される主な薬物と治療効果、作用機序と副作用、禁忌		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	主な漢方薬・消毒薬と作用機序と副作用、禁忌		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	輸液剤・輸血剤の治療効果、副作用、禁忌		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近で重要な疾患別、系統別、症状別に作用する薬物について理解できる	教科書 配布資料 視聴覚教材	事前学習 学習内容に該当する部分を教科書で確認し、予習を(読む)しておく。 事後学習 授業で学んだことをノートにまとめ、理解を確認する。 わからない部分や興味あることについて教科書、参考書を使って調べる。
		各コマにおける授業予定	看護業務に必要な薬の知識		